

『ふるさと再発見活動』二ツ井出張所で職場体験 ～能代市立二ツ井中学校1年生13名～

5月12日（火）二ツ井出張所において、能代市立二ツ井中学校の1年生13名が来所し「総合的な学習の時間の体験活動」の一環として、出張所の仕事について学習しました。

◆はじめに、職員から出張所の主な仕事（河川改修事業や河川の管理など）について説明を受けました。二ツ井出張所は生徒たちの身近な場所に位置することもあり、みなさん真剣な表情で説明に耳を傾け、メモを取るなど大変立派な姿勢でした。

◆その後、「語り継ぎ、次世代に伝えよう！米代川の洪水の恐ろしさ」のDVDを鑑賞し、昭和47年、平成19年の洪水の映像が流れると見覚えのある学校や商店街を見て、普段穏やかに流れている米代川が大洪水となり大きな被害をもたらすことにとっても驚いた様子でした。



<事業の説明>

◆小雨交じりの中、出張所敷地内で、洪水時に出勤し活躍する「排水ポンプ車」「照明車」の車両を見学しました。照明車は実際に高い位置からライトを点灯し実演しました。排水ポンプ車の高額な値段を聞いて、「高い！家1軒分だ～」と驚いていました。その他にも格納庫内に保管している「リモコン式草刈機」の見学、説明を受けました。



<車両の見学と実演>

◆最後に、今日の職場体験の感想や質問を自由に発言してもらいました。予想外に積極的なたくさんの発表があり、一人で数回質問する生徒もいました。「国交省では地震の対策もしていますか」「米代川にはどんな魚がいますか」「川をきれいにするためにどのようなことをしていますか」「何のために川の水質を検査していますか」などなど。感想としては「米代川のいろいろなことが分かってよかった」「米代川についてもっと調べてみたい」「たくさん詳しく説明してくれてありがとうございました」など、大変嬉しい言葉もいただきました。今回の体験が皆さんの中に何かひとつでも残り、これからの生活に活かしていただければ、と強く感じました。二ツ井中学校のみなさんお疲れ様でした！



<記念写真！>